

戦争と平和①

15日は戦後71回目の「終戦の日」です。「戦争と平和」をテーマに投稿を呼び掛けたところ、多くの原稿が届きました。3回に分けて一部を紹介します。

戦争遺跡残し 平和求めよう

高谷和生⁶¹

市民団体事務局長
(玉名市)

た。私たち戦跡保存団体でも新たな証言に合い、戦争遺跡やその資料を後世に残してほしいとの県民の声に励まされた夏でもあった。

戦後71年。今年の夏は郷土熊本の再生と平和継続への思いをひととき強く感じている。5月の連休以降、熊本地震で被災した県央の戦争遺跡をくまなく歩き、特に被害が激しい陸軍隈庄飛行場油倉庫・弾薬庫(熊本市南区城南町)の3次元測量、保存に向けての諸調査を進めてきた。その被災の姿は、亡父が語っていた熊本空襲で焼夷弾に焼かれたがれきの街であり、義母が八幡製鉄所本館で味わったという戦塵の再現でもあった。

残された戦争遺跡の背景にある数々の戦争体験を、熊本地震の惨状と重ね想像し、継承を模索しながら、平和への理念を戦争遺産として伝えていきたい。

読者ひろば

昨年(2015年)は戦後70年。熊本の静観した姿とは対照的に、多くの報道機関では戦争に関する多数の特集記事や番組、展示会までもが催された。県民の方々に「戦争の実相と平和の大切さ」を考えていただく節目の夏であっ

「読者ひろば」への一般投稿、若者コーナーは4500字程度、主張・提言は6000字程度。◇欄外に郵便番号、住所、パーソンション(名も)氏名、年齢、職業(無職の方は元職でも可)、電話番号を明記する◇趣旨を変えず文章を直すことあり、ます◇原稿は返却しません。二重投稿採

投稿される方へ

否の理由等の問い合わせはお断りします。匿名は不採用。掲載分には薄謝を送ります。あて先は①郵送〒8600-8506、熊本市中央区世安町1-72、熊日「読者ひろば」係②ファクス 0996(8606) 1-62996③Eメール hiroba@kumanchi.co.jp